



支部便り

北海道支部

支部長 野村 滋



東北大学電気・通信・電子・情報同窓会北海道支部では単独の同窓会は開催していませんが、毎年、青葉工業会総会、2007年度は6月26日に札幌共済サロンにて開催、昭和22年電気卒の今村智也さんが「続 灯火よもやま話」と題して記念講演、今村さんは、青葉工業会北海道地区支部の副支部長をなさっています。そして東北大学北海道同窓会連合会（全学的同窓会）が11月16日に札幌東急インにて開催されました。この会をもって電気系同窓会としている状況です。2007年度の全学的同窓会には本部より、大西仁副学長がお出で下さり、また、記念講演をなさいました。演題は「超大国中国とのつき合い方」と題した興味あるお話でした。中国は21世紀前半には、アメリカをしのご世界No.1の経済大国になるといわれているが、この中国と日本、両国間の経済的相互信頼感・好感度は

驚くほど低い、なぜこのようなことが起こったのか、そして、今後どのような付き合い方をなすべきかを話されました。この後懇親会がもたれました。出席者は総勢72名でした。電気系同窓生の出席は今年はやや少なく、今村智也（電昭22）、野村滋（電昭35、室蘭工業大学名誉教授）、木村隆夫（電昭43、日本高压コンクリート販売）の3名でした。昨年出席されていた川上隆夫さん（電昭18）が本年逝去されました。また、今までいろいろご尽力して下さっていた山口信也さん（電昭45、山口電気機械工務所）も体調が芳しくなく、幹事を辞任し、新たに、四戸崇順さん（通平6、北海道電力）が幹事に就任いたしました。来年に向けて、北海道同窓会連合会では名簿を更新する予定です。これを期に、最近赴任された新しい電気系同窓生を改めて調査したいと思っています。以上、最近の北海道支部の状況のお知らせまでとします。



東北支部

支部長 早坂 栄二



平成18年度の「東北支部総会・懇親会」を、平成19年3月7日（水）に仙台ガーデンパレスにおいて開催いたしました。根元義章支部長（東北大学大学院情報科学研究科教授）のご挨拶の後、平成18年度事業報告および会計報告が承認されました。次いで、平成19年度の支部役員として、支部長に早坂栄二（東北電力（株））、幹事に中瀬博之准教授（東北大学電気通信研究所）、渡邊高志准教授（東北大学情報シナジーセンター）を選出した後、平成19年度事業計画案および予算案が承認されました。総会に引続いて開催された「懇親会」では、竹田宏同窓会副会長のご発声による乾杯の後、桂重俊先生、岡久雄氏、内田龍男工学研究科長・工学部長、山内慶一東京支部幹事をはじめとする方々から近況を交えての温かいスピーチを頂きました。前年度同様、大学院在学の同窓生約15名の方々にも出席していただいたことで、大変賑やかな懇談会となり、同窓生相互、先輩後輩の親睦を深める楽しいひと

ときを過ごすことができました。特に19年度から学科名が電気情報・物理学科から情報知能システム総合学科に改称することもあり、大学および学科をめぐる環境変化や課題、そして将来の姿などが幅広く懇談されました。

また、「同窓会新入会員歓迎祝賀会」を、3月27日（火）の午後に青葉山の電気・情報系101大講義室（階段教室）において、学部卒業生および大学院修了生の卒業祝賀会と併せて、約240名の出席のもと盛大に開催いたしました。歓迎祝賀会では、電気・情報系運営委員長の海老澤丕道教授、引続いて電気通信研究所長の伊藤弘昌教授からご祝辞をいただき、吉信達夫教授のご発声による乾杯で卒業、修了を祝いました。さらに、村上治同窓会会長と東北支部長から、同窓会入会歓迎と励ましの言葉が贈られました。賑やかな歓談の後、学部卒業生、大学院博士課程前期・後期修了生の各々の代表から学生時代の思い出や今後の抱負などの答辞があり、最後に山口正洋教授の万歳三唱で新入会員の門出を祝いました。

なお、東北支部では、平成19年度からこの「新入会員歓迎祝賀会」を本部に移管するなど、本部との事業分担の見直しを行いました。今後とも、同窓会活動をより一層充実させるために一層の連帯強化を図りたいと考えております。引き続き皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。